

## あ と が き

1960年にとりかかった「新しい女性のための体操」の実践的研究も、すでに25年の年月が経過してしまった。

1973年、1975年、1977年、そして、1981年から一年間の跡見学園留学制度による留学も含めて、海外の運動教育の実態をじかに見学し、さらに実習する機会も得て、その理論の裏づけをすることができたような気がしている。

その間に、いろいろな研究分野にわたる、世界の友もでき、それぞれの関連で、いまなお親密な交流が続いている。

やっと「運動教育」の研究の旅も、終りに近づこうとしている。この機会をとらえて、研究の一応の総括を試みた。

今後、世界の研究者との交流のなかで、世界の体育の進歩のために、力を合わせて、研究をすすめたいと思っている。

『身体表現』を翻訳してくださった、竹内先生には、何度となく、その内容に手を加えていただき、さらに、関連分献についても、実に綿密な調査に時間をさいていただいた。

本書の内容については、「全くその通り！」と共感を覚える考え方を、いたるところに発見することができ、また、その説得力のすばらしさに感服するばかりである。

この別冊刊行のために、ご努力くださいました学術委員会委員長福田先生に、心から感謝いたします。